

わいわい ガヤガヤ 下京 井戸端トーク

人づくり21世紀委員会下京区ネットワーク実行委員会では、「子どもを共に育む京都市民憲章」を理念に掲げ、子どもが健やかに育つ社会の実現を目指しています。

今回、「子どもの規範意識を高めるために」をテーマに、「子どもの現状や課題、大人として何をすべきか等をグループで和やかな雰囲気の中で話し合う「井戸端トーク」を開催します。

地域の皆様にたくさん参加していただき、一緒に考えていけたらと願っています。気軽なトークです。皆様のご参加をお待ちしています。

日時 9月27日(火)
午後6時30分～9時頃

会場 区役所 4階会議室

内容 「子どもの規範意識を高めるために」をテーマにグループで話し合い

申込み 不要
参加費 無料

主催 人づくり21世紀委員会
下京区ネットワーク
実行委員会

☎ 教育委員会生涯学習部 (☎251-0470)

昨年の井戸端トークの様子



児童扶養手当・特別児童扶養手当について

◆児童扶養手当

対象 18歳に到達以後最初の3月31日までの児童で、次の要件に該当する児童を養育している方が対象となります。

①父母の離婚などにより、父(または母)と生計を同じくしていない児童の母(または父)

②父(または母)に一定の障害のある児童の母(または父)

③母に代わって児童を養育している人

所得が一定以上ある場合や、児童が児童福祉施設などに入所している場合などは支給されません。

なお、昭和60年8月1日から平成10年4月1日の間に支給要件に該当された方は請求できません(父子家庭の父を除く)。

手当額(月額) 前年の所得額や養育費に応じて決定します。

対象児童が1人	全額支給	41,550円
	一部支給	41,540円～9,810円

◆特別児童扶養手当

対象 20歳未満の児童で、中程度以上の知的・精神・身体障害のある児童を家庭で養育している父母、または父母に代わってその児童を養育している方が対象となります。

所得が一定以上ある場合や、児童が児童福祉施設などに入所している場合などは支給されません。

手当額(月額) 児童の障害の程度に応じて決定します。

申請方法 両手当ともご相談ください。

☎ 児童扶養手当は支援課 児童扶養第一担当 (☎371-7218)

☎ 特別児童扶養手当は支援課 支援第二担当 (☎371-7217)

対象児童1人につき	1級	50,550円
	2級	33,670円

平成23年秋の全国交通安全運動 9/21～30

◆上半期の交通死亡事故が増加

今年、京都市全域、下京区内で交通死亡事故が多発しています。上半期(1月～6月)の件数は京都市全域で26件(前年比10件増)、下京区内で4件(前年比3件増)となっています。歩行中は自転車にも注意しましょう。

◆「平成23年秋の全国交通安全運動」がスタート(9/21～9/30)

今年、「京の秋 心のゆとりが 事故防止」をスローガンに4つの運動重点のもと実施されます。

①夕暮れ、夜間時の歩行中、自転車乗用の反射材用品の着用を推進し自転車前照灯の点灯の徹底

②全座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

③飲酒運転の根絶

④二輪車・自転車の交通事故防止

区民の皆様一人ひとりが交通ルールの遵守と、正しい交通マナーの実践を習慣づけましょう。

◆高速道路は歩行者や自転車の通行が禁止されています！

高速道路は歩行者、自転車、原動機付自転車、125CC以下のバイクのご利用はできません。出入口から高速道路に間違って立ち入ると、高速で走行する自動車との接触や衝突など重大な交通事故につながります。

歩行者や自転車の方にご注意いただくため、標識や看板を多く取り付けています。写真のような標識などをご覧いただきたい場合は、その先へは立ち入らないようにしましょう。



東日本大震災

引き続き皆様の「ご支援をお願いします」

これまで下京区役所には、義援金9,132,667円(8/19現在)をお寄せいただきました。皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。これは、日本赤十字社を通じて被災地の皆様の復興支援に役立てられています。引き続き、皆様のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

◆下京区役所職員 被災地支援報告


私の担当業務は、仙台市宮城野区で震災証明交付に係る家屋調査でした。

高速無料化を機に申請が激増した時期だったため、普通の住宅地にある、軽微な損傷

の家屋がほとんどでした。しかし、「実は部屋の天井が落ちた」「近々沖繩に移住する」など、被災者が直面している状況を知ることができました。

また、岩手県南三陸町を視察した際は、調査で回っている地区とは明らかに違う津波の爪痕に、心が震えカメラを向けるのはばかられるようでした。途中で立ち寄った石巻市で、地元新聞の下部半分近くを葬儀のお知らせが埋め尽くしているのに絶句しました。被災地の自治体では、通常業務に加え膨大な震災関連業務があり、地域を越えた人的支援の必要性を今回の派遣で強く感じました。

(総務課 西野間 圭子)
(仙台市職員や他都市からの職員との提携業務の様子)



けすぞう君の防火のチェック



高齢者宅からの出火防止について

平成22年中の京都市内における火災件数は170件で、火災による死者は15人でした。うち、放火自殺者を除く10人のうち65歳以上の高齢者が4人で、火災による死者数の4割を占めました。

そこで次の事項に注意して高齢者宅からの火災を防止しましょう。

◆たばこ火災に注意

就寝前や外出時は喫煙場所の消火を確認し、寝たばこはしないてください。

灰皿は縁の広い物を使用して、水を入れ、吸い殻は確実に消してください。

◆こんろに注意

こんろの周りに燃えやすい物を置かず、火を付けたまま台所を離れないください。

◆電気配線・電化製品に注意

プラグは、長期間コンセントに差し込んだままにせず、時々、乾いた布で清掃してください。

コンセントはたこ足配線にせず、コードの上に重たい物を乗せないでください。

コードを束ねて使用しないでください。

☎ 下京消防署 (☎361-4411)



「かかりつけ医の採血検査で腎臓は大丈夫と言われています」とか「少し腎臓に負担がかかっているだけで大丈夫」と言われている人でも、実際腎臓機能をチェックしてみると60代～70代の人は腎機能が60%以下に低下していることが多いです。慢性腎炎など、腎臓特有の病気の人はもちろんのことです。慢性に腎臓に負担がかかっている状態を「慢性腎臓病」(CKD)と定義していますが、普通の高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、高尿酸血症の人も腎臓に負担がかかっているとい

うのを忘れてはいけません。腎臓に関して言えば、腎結石を除いて、ほとんど、自覚がなく放置してしまいがちになりやすいのですが、1年に1度の検尿、血液検査、超音波検査でほとんどが判明します。それによって、自分で病気の進行を食事療法などでコントロールできる人もいますので、ぜひかかりつけの先生と相談し、今の腎臓能に関する、詳しく説明していただくのが一番いいと思います。

腎臓の1番の食事療法は塩分制限です。高血圧や腎機能低下の患者さんは塩分を1日に6gまで制限するのがよいと言われています。今一度、自分の腎臓と塩分に関して考えてみる必要があるかもしれませぬ。

下京東部医師会
前田医院 前田真里